森林講座瓦版

平野 悠一郎 *Hirano Yuichiro*
関西支所

近年、世界各地では木材生産、自然観察、観光訪問などに加えて、健康維持やリフレッシュのためのウォーキング、そしてトレイルランニング、マウンテンバイクなどのスポーツを、森林や山道で行いたいという人々が増えてきました。しかし、アメリカやヨーロッパ、ニュージーランド等にくらべると、日本での森林スポーツの発展は限られています。

その大きな原因は、日本の森林や山道が、スポーツの場として「使いづらい」状況にあるためです。まず、多くの森林や山道は、「誰がどのように使えるのか」が明確ではありません。また、許可を取ろうにも、所有者や管理者が不明な場合が多々あります。そして、森林や山道を、誰が責任をもって安全に維持管理し、事故やトラブルの解決にあたるべきかが曖昧になっています。

このため日本では、豊富にある森林や山道が十分に活用されずにいます。一方、森林スポーツが大きく発展を遂げた諸外国では、まさにこれらの「使いづらさ」を解消するための、さまざまな制度的工夫がなされてきました。

最近、林野庁「森林サービス産業」等で、スポーツを含めた多様な森林空間利用を促す政策方針が示されつつあります。また、森林スポーツの愛好者の中には、自ら進んで森林や山道の維持管理を担い、過疎化の進む山村地域に貢献する動きもあります。こうした動きを森林の持続的・効果的な活用へと結びつけるためには、森林や山道を「使いやすく」する工夫が何よりも必要です。

（2019年12月6日開催講座より）

森林はスポーツの場となりうるか？

▲森林でマウンテンバイクを楽しむ人々（ニュージーランドにて撮影）

森林講座のお知らせ

2020年度の森林講座は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定していた講座を全て中止することといたしました。現在、いくつかの講座につきましては、動画でご覧いただけるよう準備を進めております。

公式You Tubeチャンネルで無料配信いたしますので、楽しみにお待ちください。

【12月配信予定】「永久凍土地帯に広がる酔っぱらいの森のナゾ」

藤井一至　立地環境研究領域

北極圏には永久凍土の上にヨロヨロと育つ酔っぱらいの森と呼ばれる生態系があります。一年中解けない氷、急速に進む温暖化を耐え抜くクロトウヒに生きる知恵を学びましょう。

◀YouTube「森林総研チャンネル」
https://www.youtube.com/c/FFPRIchannel/